

第1回協働のまちづくり推進計画検討委員会 会議録

日 時	令和2年6月26日（金）10：00～12：00
場 所	すこやかセンター2階 会議室1
出席委員	青柳委員、高德委員、明石委員、秋元委員、瀬良委員 田中委員、西澤委員、林田委員、山本委員、岡委員 佐藤(智)委員、宮本委員、小出委員、佐藤(恭)委員
欠席委員	篠原委員
アドバイザー	関谷 昇 氏（千葉大学大学院 社会科学研究院教授）
事務局	市民活動推進課 高嶋課長、佐藤主査、大木、岩井
出席者	五十嵐市長、長谷川市民経済環境部長
傍聴者	なし

[会議次第]

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 市長あいさつ
- 4 委員紹介（自己紹介）
- 5 アドバイザー紹介
（千葉大学大学院 社会科学研究院 教授 関谷 昇 氏）
- 6 議題
 - (1) 委員長・副委員長の選出について
 - (2) 会議の公開と会議録等について
 - (3) 検討内容及びスケジュール（案）について
- 7 講義 協働のまちづくりについて
講師 アドバイザー
千葉大学大学院 社会科学研究院 教授 関谷 昇 氏
- 8 富里市協働のまちづくり推進計画の取組に係る進捗状況について
（市民活動推進課）

9 市の取組に対するアドバイス及び事業の評価並びに点検方法の検討について（アドバイザー）

10 その他

11 閉会

[会議概要]

事務局	次第6 議題 (1) 委員長・副委員長の選出について —事務局より説明— —委員の互選—
事務局	ただいま、山本委員との提案がありましたが、皆様いかがでしょうか。 賛同される委員の皆様の拍手をいただきたいと思います。 —拍手—
事務局	山本委員を委員長として皆様の賛同がございました。 山本委員、よろしいでしょうか。 —委員了承— —互選の結果、委員に決定—
事務局	では、山本委員が委員長になりましたので、議事進行につきましては、本委員会運営要綱第6条の規定により、山本委員長にお願いしたいと存じます。 —委員長席へ移動— —山本委員長挨拶—

委員長	<p>では、副委員長はいかがいたしましょうか。</p> <p>－委員の互選－</p>
委員長	<p>ただいま、林田委員との提案がありましたが、皆様いかがでしょうか。</p> <p>賛同される委員の皆様の拍手をいただきたいと思います。</p> <p>－拍手－</p>
委員長	<p>林田委員を副委員長として皆様の賛同がありました。</p> <p>林田委員よろしいでしょうか。</p> <p>－林田委員了承－</p>
委員長	<p>それでは、副委員長は、林田委員に決定しました。</p> <p>－林田副委員長挨拶－</p> <p>(2) 会議の公開と会議録等について</p>
委員長	<p>それでは、議題(2) 会議の公開と会議録等について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>－事務局より説明－</p>
委員長	<p>ただいま、事務局から説明がございましたが、御質問等ございますか。</p> <p>－特に質問なし－</p>
委員長	<p>ないようでしたら、協働のまちづくり推進委員会など、他の審議会に準じて作成されているとのことでしたので、この内容でよろしいでしょうか。</p> <p>－委員了承－</p>

委員長	では、この内容で運用していきますので、皆様よろしくお願ひします。
事務局	ただ今、傍聴要領につきましても了承いただきました。 本日、傍聴を受付しましたところ、傍聴の申し込みはございませんでした。 なお、本日の会議は、会議録作成のため、録音させていただきますので、御理解と御協力のほど、よろしくお願ひいたします。
委員長	(3) 検討内容及びスケジュール (案) について 議題 (3) 検討内容及びスケジュール (案) について、事務局から説明をお願いします。
事務局	－事務局より説明－
委員長	ただ今、事務局から説明がございました。 このことについて、御質問等ございましたら、お願ひします。 －特に質問なし－
委員長	あくまでも予定スケジュールということで、こちらの内容でよろしいかと思ひます。 それでは、このスケジュールに沿って、検討していきますので、皆様よろしくお願ひします。 これで、議題が終了いたしましたので、進行を事務局へお返しいたします。 －休憩－
アドバイザー	次第7 講義 協働のまちづくりについて (千葉大学大学院 社会科学研究院 教授 関谷 昇 氏) －関谷教授による講義－ 次第8 富里市協働のまちづくり推進計画の取組に係る進捗状況について

事務局	<p>－事務局より説明－</p>
事務局	<p>ただ今の説明について、御質問等がございますでしょうか。</p> <p>－特に質問なし－</p> <p>次第9 市の取組に対するアドバイス及び事業の評価並びに点検方法の検討について (千葉大学大学院 社会科学研究院 教授 関谷 昇 氏)</p>
アドバイザー	<p>－関谷教授による説明－</p> <p>事務局からの説明にもあったが、条例に基づいて、この推進計画が作られている。</p> <p>資料4の一覧で各項目を御覧いただきたい。</p> <p>こちらが推進計画に沿った実施項目となっている。</p> <p>この中で市民活動サポートセンターについての部分があるが、計画当時はまだ存在していなかった。だが、市民を繋ぐ、または市民と行政を繋ぐことを媒介する機関として立ち上げられた。こうしたセンターの機能をこれからどういう風に充実、高めていけるかが課題となってくる。</p> <p>現在の富里市のサポートセンターは、近隣でも進んでいると評価されているが、今後どう伸ばしていくかを考えなければいけない。</p> <p>市民活動支援補助金や基金についてだが、これらは市民活動団体の活動が軌道に乗るように初期支援を担うものである。補助金を出しておけばいいということではない。</p> <p>様々な団体が存在し、多くの活動があると思うが、その活動が更に豊かに育っていくためには、お金の部分でどういった支援ができるのかという部分も課題である。</p> <p>基金という部分や寄附という部分も同様であり、検討がなされてきているところである。</p> <p>これらは、これから更に豊かな発想を基に、展開していく必要がある。</p> <p>様々な情報交換や学びの場というものも多く盛り込まれているが、皆様の視点からして、理解が難しいというところから始まっている。</p> <p>どのような人たちが、どのような活動や取り組みをしているの</p>

か、学んでいるようで学べていない。自治会などの身近な活動でもそうであり、団体同士でも同様である。

魅力を持った方がどれだけいて、どれだけの力を持っているのかということをお互いに知るといった場面がまだまだ不足している。

そういった裾野を開いていこうということが、数々の講座であったり、学びや交流の場となっている。

これらをどういう風に仕掛けていけば、互いのプラスを引き上げて、交流を持てるのか、皆様の視点からアイデアを出していただきたい。

当初もこういう場が必要だとか、こういう機会が必要ということをお考えして、計画に盛り込んでいた。

行政に無関心な人が多いという意見があるが、必ずしもそうではないと思う。関心がないのではなくて、関心を持つに至るまでの情報を持ち得ていないから、関心がないかのように見えてしまっているだけである。

情報や実態を正しく知ることができれば、何かのアクションが始まるかもしれない。どういうことが課題や問題であるかを正しく情報共有されていないという問題を、どう克服できるかが大事である。

行政も様々な情報発信をしていると思うが、伝えられる情報は、ほんの一握りの部分だけであり、100の情報があったら、1残るかどうかというレベルである。

情報がこれだけ多く散漫している現代で、一人ひとりに残る情報はごく僅かである。

どの分野の場合でも、富里市の実情はどうなっているのか、どういう問題があって、何が必要とされているのか、市民の方にどれだけ共有されているのか。

問題を共有するという裾野が広がっていかなければ、まずアクションができない。つまり、人は一般論では動かない。

子育てが大変である、介護が大変であるといったように、一般論としての情報は世の中に沢山あるが、それを自分の問題として受け止める、自分の地域の問題として受け止めることができるようになっていけるかどうか。これが情報共有という部分での大事な部分である。

このような仕掛けを現行計画の中でも盛り込んであるが、まだまだな部分がある。

必要な形で情報が共有されていくようになるには、何が必要であるか、ぜひ考察していただきたい。

また、小学校区単位での協議会という部分も、計画の重要部分として盛り込んだ。

横の繋がりをどういう風に作り出していけるか、その牽引役を担うものとしての位置づけである。

既存の取り組みでできるものは、そのまま続けていけばいいが、できない事もできてくる。自治会の清掃作業などがそうであり、自治会単位で行っていたが、高齢化などによって実施が難しくなってくる地域ができてくる可能性がある。それを小学校区単位でのまちづくり協議会を母体として、そのような部門を作ることにより、対応できるようにする。できる人ができる時にできる活動をするということが、まちづくり協議会発足のためのコンセプトの中にある発想でもある。これは負担が増えるということではない。協力体制をどう構築できるかが協議会づくりの狙いでもある。

行政との関係もこれからどうしていくかという課題も出てくる。

富里市としての声を広く市民に届けるにはどうするか。

行政サイドは、事業と枠組みの中で進めがちであるが、それでは協働はできない。枠組みというもので考えてしまうと、行政はできる部分是对应する。そこで、できない部分を市民にお願いするとすれば、市民側は行政にやらされているというように捉えてしまう。協働に批判的な市民が多いのはここに繋がり、やらされているという感覚がある。これは行政がすべて決めてしまっているからである。

現在、自助、公助の境界線は流動化している。そもそも自助、公助、共助の境界線は、行政が決めている場合が圧倒的に多く、自助、共助という部分が育たない。

どういった部分が自助、共助でできるのかを確かめながらやっていく必要がある。そういうことを進めてくために、地域にどのような課題、問題があるのかということを探ることも、行政活動の出発点である。地域にどのような課題、問題があるのかということを経験しておくことが重要である。その上で、その課題、問題に対して地域で取り組みができていないのか、行政として取り組みができていないのか、これを確かめながら突き進んでいかなければ協働はできていかない。そういうことを確かめ合っていけるような行政と市民との関係づくりが重要である。どのような

	<p>手段でもいいので、とにかく現場の問題を把握、共有していこうという動きが顕著である。それが現在富里市でどこまで進んでいるのかという部分を皆様の目線で、考えていただきたい。</p> <p>要望だけを出すものではなく、地域が自主性を持って取り組み、行政が足りない部分を補うような豊かな関係性が築ければ、協働は前進していく。</p> <p>そのような視点を持ち、会議の中で検討を重ねていければと思う。</p> <p>会議の前半は、現行計画の検証に重点を置く。現在までどういう取り組みがなされてきて、この10年でどのように改善されてきたのか。または停滞しているものや、進展がないものがあるのかどうかを皆様の視点で見てください、意見をお願いしたい。</p> <p>推進計画の現状を皆様で確認し、それらを踏まえた上で、どこに課題を抱えているのかを検証していく。</p> <p>そして後半はそれを踏まえて、具体的な対応策等を考察し、提言に結び付けられればと思う。</p> <p>現行の計画は横並びでの計画であるが、次期計画は、取り組みにもう少し強弱をつけてもいいとは個人的には考えている。</p> <p>上手くいっている部分を伸ばすという視点か、上手くいっていない部分に力を入れるという視点もある。</p> <p>その中で強弱をつけながら、富里市の協働のまちづくりについて、力を入れているポイントを作っていければいい。</p> <p>そういった他に誇れるような部分というものを、一つでも多く形として見出していければと思う。</p> <p>次第10 その他</p> <p>事務局 その他でございますが、委員の皆様から何かございますでしょうか。</p> <p>ーその他特に意見なしー</p> <p>事務局 ー事務局より次回日程の連絡ー</p> <p style="text-align: center;">(閉会)</p>
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------